

新刊
紹介

著者：インフラ再生研究会
編集：日経コンストラクション
発行：株式会社日経BP
仕様：A4判／192ページ
価格：2,000円（税別）

荒廃する日本 これでいいのかジャパン・インフラ

2019年10月、各地に強風と大雨をもたらした台風19号はまだ記憶に新しい。東日本の広い範囲で堤防が決壊して河川が氾濫し、がけ崩れ等も発生した。近年、2015年の関東・東北豪雨、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨、2018年の北海道胆振東部地震など毎年のように全国各地で大規模な自然災害が頻発し、甚大な被害が発生している。また、地球温暖化による気候変動に伴い、大規模な水害・土砂災害にも見舞われている。

こうした災害の中には、事前の防災対策をしっかりと講じておけば、被害を大幅に軽減できたものがたくさんあったと考えられる。わが国のインフラ整備水準が米国など諸外国に比べてかなり遅れていることに危機感をいだいた国土交通省OB有志が集まり、取りまとめたのが本書である。

1980年代初期の米国は、老朽化やずさんな点検・管

理等によりインフラの劣化が急速に進展、深刻な状況に陥り、全米各地の経済活動や国民生活に大きな影響を及ぼすに至った。このような中、突然切れたワイヤケーブルが、日本人カメラマンに直撃し、死亡する事故が起きた。事故から1年後に米国で発行された『荒廃するアメリカ』では、インフラの劣化が米国経済の再生・発展を妨げ、国民生活の前提を脅かしていると説く。

本書は、維持・管理の軽視がインフラの荒廃を招き、経済活動や国民生活に大きな影響を及ぼした当時の米国を例にあげ、このような状況を引き起こさないためにもわが国のインフラの整備水準や老朽化に警鐘を鳴らしている。「道路」「治水・利水」「下水道」「港湾」「都市」の5分野を取り上げ、激甚化する災害への対応や国際競争力の観点からもインフラ投資の重要性を強調。国際比較など豊富なデータをもとに、インフラの再生の必要性や今後のあるべき方向を示している。

発行：一般社団法人 日本建設業連合会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館

TEL 03-3553-4095 FAX 03-3551-4954

URL <https://www.nikkenren.com/>

発行者：山本徳治

企画・編集：一般社団法人 日本建設業連合会 広報委員会

制作：株式会社Kプロビジョン

デザイン・印刷：株式会社スリーライト